

中国：11月の経済指標

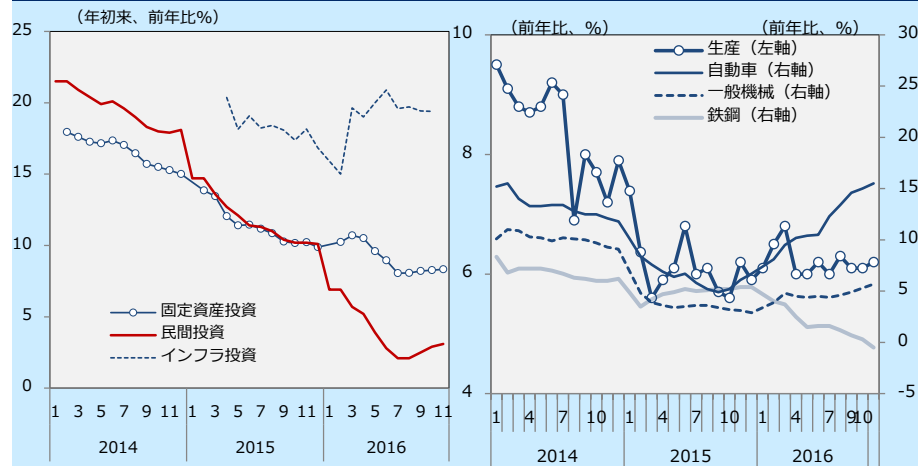
—民間企業の投資は持ち直し—

MRI Daily Economic Points

December 13, 2016

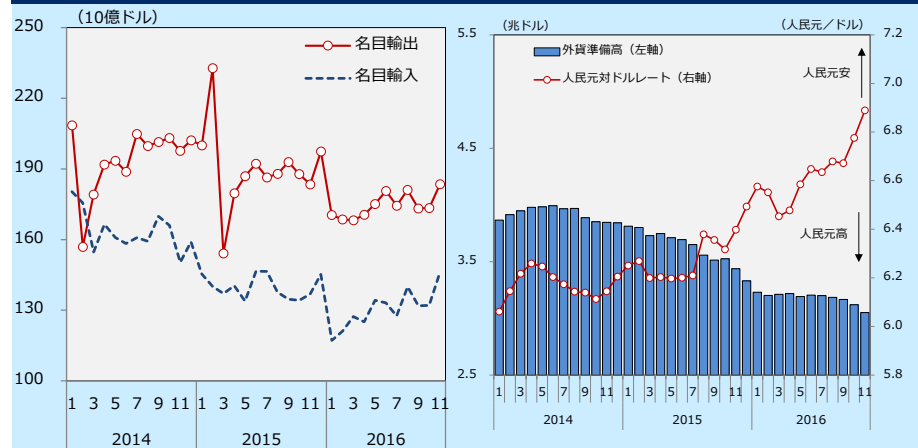
投資

生産



輸出入

為替と外貨準備



評価ポイント

今回の結果

- 11月の中国の経済指標をみると、全体として堅調に推移している。
- 2016年1-11月累計の固定資産投資は、前年同期比+8.3% (1-10月：同+8.3%)と底堅く推移している。インフラ投資が高い伸びを続けるほか、政府による民間投資促進策を受け、民間企業の投資も持ち直している。
- 11月の鉱工業生産は、前年同月比+6.2%となり、前月(同+6.1%)からやや上昇した。鉄鋼生産の減少が続いているが、自動車生産が増加しているほか、安定した投資を背景に機械生産も持ち直している。
- 11月の小売売上高は、前年同月比+10.8%と前月(同+10.0%)から上昇し、高い伸びを維持している。政府による小型車減税を背景に自動車販売が好調のほか、家電製品の伸び率上昇もプラスに寄与した。
- 11月のドル建て輸出は、前年同月比+0.1%と8ヶ月ぶりに前年比で増加した。人民元安が輸出の追い風となっており、輸出はやや持ち直しの動きがみられる。
- 金融面では、米大統領選後のドル高を受けて、対ドルで人民元安が進んでいる。外貨準備は2016年初以降安定して推移していたものの、10月以降は減少ペースが拡大している。

基調判断と今後の流れ

- 中国経済は、政府による景気刺激策の波及から、堅調に推移している。
- 政府による景気刺激策は、短期的な経済成長にはプラスであるものの、構造改革の先延ばしにより、中長期的なリスクは高まっている。また、小型車減税は12月末での終了が予定されており、追加的な政策対応が行わなければ、駆け込み需要の反動は避けられないだろう。
- 中国政府は、12月に開催が予定されている中央経済工作会議において、2017年の経済運営の方針を定める見込み。2017年3月開催見込みの全人代に先立ち、構造改革に関してどのような表現を行うか注目したい。